

■令和3年度 北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会

第6回 検討委員会 議事次第

日時：令和3年12月15日
19時10分～20時50分
場所：北川小中学校
多目的ホール
(オンラインを併用)

1. 開会
2. 前回内容の確認及び基本計画（案） 資料1
3. 保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について 資料2
4. サウンディング結果報告 資料3
5. その他
・次回の検討委員会について

配布資料 資料1 第5回検討委員会議事録、基本計画（案）
資料2 保小中一体化及び複合化を実現する建物の可能性について（面積規模の試算等）
資料3 サウンディング結果報告

第 5 回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会 議事録

開催日時	令和 3 年 1 1 年 1 7 日 (水) 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0
開催場所	北川村立北川小学校 多目的ホール (オンライン併用)
出席者	■ 小笠原委員、田中委員、山崎 (美) 委員、山崎 (和) 委員、田所委員、小松委員 - 永野委員長、伊庭委員、倉斗委員及び中山委員 (リモート参加) 計 1 0 名 ■ アドバイザー 柳川アドバイザー ■ GPMO 湯川 ■ 事務局 野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	(1) 開会 (2) 前回内容の確認 (3) 保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について (4) その他 ・ 電子図書について ・ 次回の検討委員会について
配布資料	・ 資料 1 第 4 回検討委員会議事録 ・ 資料 2 保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について ・ 資料 3 電子図書について

議事経過	(1) <u>開会</u> 【事務局】 ・ 事務局挨拶
------	---

議事経過	(2) <u>前回内容の確認について (第 4 回検討委員会議事録【資料 1】)</u> 【事務局】 ・ 【資料 1】に基づいて説明 ・ 質疑は特になし
------	---

(3) 保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について (資料 2 保小中一体化を目指す学校施設の機能と既存施設活用の可能性について)

【柳川 AD】

- ・ 【資料 2】に基づいて説明

【山崎美砂委員】

- ・ 図書館など、魅力的な提案であると思う。一方で、普通教室が現在よりも狭くなるというイメージがつきにくい。特に中学生は体が大きくなる時期であり、現在はゆったりと学習ができる環境だが、それが狭くなることによって少し窮屈になるのではないかという印象を持った。
- ・ また、オープンスペースは小学生低学年にとっては魅力的であるが、中学生がそれと同じようなものが必要なかは考える必要があると思う。
- ・ 家庭科室が現在は別々である調理室と被服室とをまとめて一緒にして、地域の方も活用できるというのはとても良いと思う。

議事経過

【柳川 AD】

- ・ 特別教室の利用率については、私の感触として、地域がいつでも自由に使えるという状況ではない部分があると考えている。先生方が存分に「今日そうだこれを使おう」と思った時に使える状況を作っておくことが必要と考え、今の面積を現行と同じ広さに揃えている。その辺りを踏まえて使い合わせて行く環境を整えていくというのが 1 つ大きな課題になると考えている。

【倉斗委員】

- ・ 今日柳川先生が示していただいた供用の案というのは 1 つの考え方だと思う。同じような小規模の学校だと小中一貫になっているところがあり、こんな学校もあるという例を今手元にあるのでお見せしたい。(画面共有)
- ・ 目黒区小学校は現在学年 2 クラスの学校だが、ここはワーキングスペースという名前で理科室と家庭科室を 1 つの教室で作っている。小学校だけなので調理実習が大変少ないということもあり、理科と兼用で使うということは全く問題ない状況である。

- ・ もう 1 つは吉備高原小学校で、こちらも学年 1 クラスの学校で、ちょうどこの部分（画面共有の図を示しながら）がワークスペースになっており、様々な活動ができる。また、ここに理科室兼家庭科室を取っていて、空いている方を使ったり、どちらかが空いてれば広げて使ったりという形で運用している。調理室はランチルームの奥にあり、ここで調理実習をしてランチルームで試食をするという使い方をしている。このような形で効率的に使用頻度を考えて作っている例もあるので、柔軟に考えていけたらいいと感じた。
- ・ また、例えば音楽室みたいな音を出す部屋はオープンでなく閉めきっておく構造が必要になるし、外国語教室も音を出す部屋であり、逆に音が外から入ってきても嫌である。そういうことから、音を遮る機能をどういう部屋につけるのかも考えておく必要があると思った。
- ・ 今資料がないが、小学校の図工は、イメージだとアートなので一般的に美術室となるが、技術家庭の学習として技術室を兼用している例もある。これだと現在木工金工などものづくりの学習を扱う授業時数が減ってきているので、図工と技術家庭の学習を 1 つの教室で使用するという例もある。教室というのは教科名で付けられてしまうところがあるが、そこでは何をやる部屋なのかという観点で、改めて特別教室のあり方を考えるなかで、一緒にしておいた方がいいものが見えてくると思っている。

【柳川 AD】

- ・ カリキュラムあるいは先生方がどういうことを大事に授業を行うのかによっても組み合わせは変わってくるのだろうと考えている。今は基本計画なので、いろんな可能性があるというところを考えながら進めさせていただくのも 1 つであり、その中で、最終的にはこの組み合わせがいいのではないかなというところを見つけていけるといいのではないかなと思っている。
- ・ 吉備高原学校のワークスペースについては、自分も本当に素晴らしく、有効に活用できる場所ではないかと考えている。

【永野委員】

- ・ 北川村の子どもの特性がどのように反映されているのか。子どものコミュニケーションを課題と感じているのであれば、交流する場や経験をする場などがどこに、どのように反映されていくのかをお伺いしたい。

- ・ また、子どもが何かしら相談する場所があったらいいではないかと思う。
- ・ パソコンルームを面積の中で計算して提案いただいている。これまでであれば情報関係の部屋が必要だったが、もう通常の教室の中でパソコンを使って学習できるので、情報の部屋は必要がないと思ったがどうか。

【柳川 AD】

- ・ 北川村の子どもたちの特性について、大事にしたいと考えているのは図書館だと考えている。友達や先生だけではなく、村内外の大人と学習を深めたり相談したりしながら探究的な学びを展開できる空間として、従来の図書館とは違う機能を持たせた空間を考えている。
- ・ 子ども達の学びを考えたときに、必ずしも地域の方たちといつも触れ合っていることは適切ではないということもあり、空間構成については追って示していきたいし、メリハリを効かせた空間を整理して提案していきたい。基本計画を踏まえて、設計者のイメージが膨らむようなものを作っていけたらと思っている。
- ・ 先ほどのパソコンの部屋も同様に、私も現状から見てどうかと思うところもある。それも含めて検討させていただきたい。

【伊庭委員】

- ・ 倉斗委員が示した写真の中に、全校生徒がご飯を食べている写真があったが、今回のプロセスの中で給食をどうお考えになっているのか。全校生徒で食べると自校式のようなになるのかという点で、ランチルームと調理室がどういう感じになるのか教えていただければと思う。

【柳川 AD】

- ・ 現在北川は自校給食であり、今はコロナで中断しているが、基本的に小中みんな一緒に食事をしている状況である。子どもたちからもこのランチルーム的な環境を守っていききたいという声が上がっていたので、そこはこれまでと同じように作っていききたいと考えている。地域の方からも、そこに入って一緒に給食を食べるようなことができないかというようなお話も出ているので、1つの案としてまた改めてお示しをさせていただきたい。この多目的ホールを地域も含めた食堂のような形にさせていただくのもいいのではないかと考えている。
- ・ 現状の面積比較をすると、この多目的ホールと現行のランチルームはほぼ同じ大きさである。なおかつ、この多目的ホールの隣の技術室が調理室と同じ大きさになっている。そういう意味ではこちらに少し改良を加えると、自校給食がそのままできてしまうというようなことも可能なのではないかと考える。
- ・ 一方、この多目的ホールの隣にプールがあるが、そのプールの隣に道路がある。このプールは年代的にはもう解体すべき時が来ているので、解体して広場にしてい外につながっていくような場所にしていくというようなことも可能なのではないかと考

えており、そういうことを含めると、地域交流拠点というような形でのランチルームの有り様というものが可能性として開けていくのではないかと思います。

【柳川 AD】

- ・ 【資料 2-3】 ～ 【資料 2-4】 に基づいて説明。

【永野委員】

- ・ 学校と村民会館の合築は大賛成である。地域の中で暮らしている中で、特に調理室はよく使うと思うが、別々でなくとも学校にあれば十分足りるのではないかという気持ちもある。交流と言う観点からも同じような発想で良いのではないかと思います。

【柳川 AD】

- ・ 現在、教育委員会の事務局が村民会館に入っているので、これをどう考えていくかということが 1 つ重要なポイントになる。また、その時役場をどう考えていくのかということにも関わってくる内容なのではないかと思っている。
- ・ 特別教室の住民利用を考える際に、日中は貸館により様々な教室をそこで行いたいという話も出ているが、学校と住民参加の調整をきちんとコーディネートできる人の常駐というものは大事になってくる。ソフトのマネジメントが大変重要になってくる中で、どういう運営体制を組んでいくのかは PPP も関連してくる内容になると考えており、この辺りを精査して行くことが今後大切になってくると考えている。

【伊庭委員】

- ・ 公共施設マネジメントの考え方で、アセットマネジメント（※実際の所有者に代わって管理・運用を行う業務）の観点からも良いと考えている。大人と子どもの活動時間は異なるので、多目的ルームが使えるようであるし、学校と村民会館と一緒にするのは私も良い考えだと思う。

【柳川 AD】

- ・ 今も北川村文化祭として村民会館で長い期間展示をしているが、そういうのも学校空間の一角で行っていくというのも 1 つあるのではないか。その期間が、例えば子供たちの様子を見る授業参観の期間になるということもある。あるいはイベントや発表会みたいなものを学校の体育館を使って、子供たちが運営をサポートする側になって、例えばフランクフルトを焼いてお爺ちゃんお婆ちゃんに提供するなどの機会にも使っていける可能性が広がっていく。教育の方にも大変効果が出てくると考えている。特に、北川村の課題になっている新しいチャレンジあるいは自分で行える機会をつくっていける場面も増えていく学校になっていくのではないかということを感じている。

【伊庭委員】

・ 以前、美術館を検討したときには、美術館は廊下でいいのではという考えもあった。そういう意味では、学校が美術館になっていって、ビエンナーレやトリエンナーレが行われていくのは非常に面白いと思う。 【柳川 AD】 ・ そういう意味では、モネの庭もあるので、アートと絡めた取り組みもできるのではないかと考えている。 【田所委員】 ・ 同じような施設は不要だと思っていたが、村民会館を学校に複合化させるのは良い案だと思う。ただ、村民会館が野友地区の災害避難拠点になっているので問題ないのかは気になるところである。 【柳川 AD】 ・ 【資料 2-5】に基づいて説明。 【田所委員】 ・ 素晴らしい考えだと思う。 【山崎美砂委員】 ・ 防災については、子どもにとって重要である。学校施設の中で普段から防災のことを学べるのは大切だと考えている。 【山崎和美委員】 ・ 園として防災を地域の方と一緒に取り組むのは少ない。みんなで一緒にできることとなれば望ましい。 【小笠原委員】 ・ 阪神淡路大震災などの経験を踏まえて、こういった防災備品が増えてきているのは実感している。実際、災害が発生した際にはモノに頼らない対応が重要である。 ・ 村民会館にある教育委員会についてであるが、役場自体は耐震補強もしているので、立て直すなどはもったいない話である。ただ、役場（施設）の機能の見直しについては現在検討事項に入っており、教育委員会の場所についても平行して検討していきたい。 【小松委員】 ・ 防災学習を学校でやっていくのは良いと思った。
--

議事経過	(4) <u>その他 (電子図書について・次回検討委員会について)</u> 【メディアドゥ】 ・ 【資料 3-1】 を基に説明 【伊庭委員】 ・ 図書館コンテンツについて、子どもたちの作成した本を載せることは可能なのか。 【メディアドゥ】 ・ デジタルデータになっていれば可能である。八王子市工学院大学附属中学校・高等学校の事例では、子どもたちが作成した本を電子図書館上に登録し、中学校 3 年生が英語で書いた小説をこの電子図書館上にあげるという取り組みを行っている。 【小笠原委員】 ・ この電子図書と施設整備との関係性を説明してほしい。 【事務局】 ・ 施設整備において、図書館が入ってくると考えているが、大規模な施設整備は難しいため、北川村だからこそ、本当に必要な図書のみを図書館に置くということを考えたときに、残りのものは電子書籍でいいのではないかと考えている。そういう観点から今回ご提案いただいている。 【小笠原委員】 ・ 図書館をどういう整備にするのかについては、村民にも実際に来ていただき、交流の場とするにはそれなりの図書が必要になると考えている。書籍としての図書をどう捉えるのか、時代に合わせて電子図書をどう捉えるのか、それによって図書館のあり方が変わってくるのではないかと考える。 【伊庭委員】 ・ 学校の公民連携を考えていく際、現状の文科省の方針だけではなく、将来を見据えた観点で整備しないといけない。これから 30 年～50 年のスパンで考えていくと、これからの教育がどのようなようになっていくのか、メディアドゥの技術などをどう捉え反映していくのか、考えていくことが大切である。電子図書館と名前がついているが、これは情報を出版し発信する技術であり、これから北川学などの学習の中にそのような先端技術を取り込むことも検討しながら、将来を見据えた学校施設を考えていければと思う。その中の 1 つの手段として面白いと思ったのが、子供たちが自分たちでいつでも本を作って出版できるという可能性を秘めていること。図書館という場所は、本を読むだけではなくて本を作るところだと整理していくと面白いことができてるだろうと思う。 ・ 北川村の基本計画検討委員会について、私はすごいと思っていて、多分民間に公募してもこれ以上のアイデアが出てくる民間企業はそんなにならないと思う。だから、今後公募していろんな施設を公民連携で整備を行うにしても、通常のやり方で公共が
------	---

発注して民間が提案を出してから、提案の中から選ぶというやり方ではどうもうまくいかないなという認識をすごく持っている。民間の方々と公共だけでなく、住民の方々などいろんな人が集まってきてみんなで作り上げるようなプロセスが大切だと思う。今までの公民連携と違うスキームを考えなきゃいけないと思ってちょっと悩ましくなっている。今日参考になったのは、子供の創作に使える点であり、本を子供達を作る教育など面白いことができると感じた。

【柳川 AD】

- ・ 面積指標について、圧倒的に足りないという認識を持っており、検討する中で場所・コストなどいろんな問題も出てくると思う。そういう中で、手にとって読める書籍も平行して置くことも必要。みんな家で閉じこもって読むだけではなく、一緒にその辺で寝っ転がりながら読み、あるいは本を作るというような1つのラボのような場所にもなりうる可能性があり、それが新しい図書館のあり方となる。しかも、そこから発信して外につながっていける可能性もあり、北川村の子ども達だからこそ、図書館の使い方によって有効に働く可能性が広がるのではないかなという印象をもった。

【小笠原委員】

- ・ 手に取る子どもによっては変わると思う。場所について、自分たちが経験した図書館、図書室という場所ではなく、新しい図書館のあり方というのはキーワードになると思った。

【メディアドウ】

- ・ 関市での取り組み事例の紹介

【柳川 AD】

- ・ 出版社や作家に会うイベントなどの企画は、図書館だと司書の方が企画するということになると思うが、誰が行っているのか。

【メディアドウ】

- ・ 司書がいる場合、司書自らが企画運営するケースもあるが、紹介した事例では企画提案は我々の方で実施している。図書館が公民館と併設されている場合もあり、その職員の方々に企画書を作ってもらうのは大変だと思うので、我々で企画書を提供している。今日参加している片平（メディアドウ社員）は学校司書の資格を持っており、他にも公共図書館の中で働いていたメンバーもいるので、連携は図りやすい。

【伊庭委員】

- ・ メディアドウさんはどのように収入を得ているのか。

【メディアドウ】

- ・ 電子書籍の取次が本業である。サービスを契約する場合は、相手方からお支払いいただいている。

	【事務局】 ・ 次回検討委員会は、12 月 15 日（水）19 時～になる。
--	--

北川村文教施設・子育て環境等整備事業

基本計画報告書（案）

はじめに

○○○○○○○

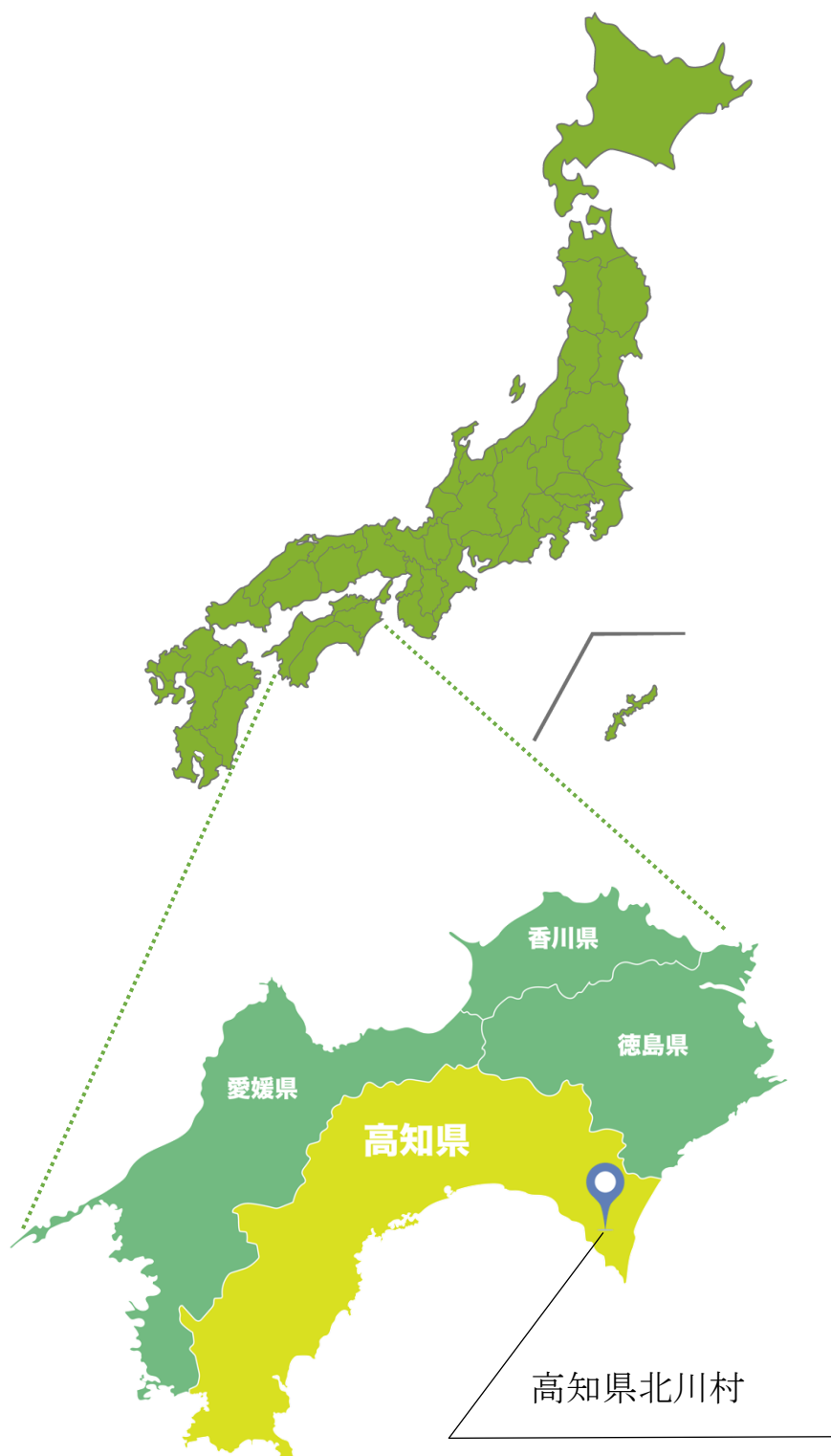
○○○

目次

第1章 基本計画の背景

1. 北川村の概要

(1) 北川村の位置・地勢について



第1章 基本計画の背景

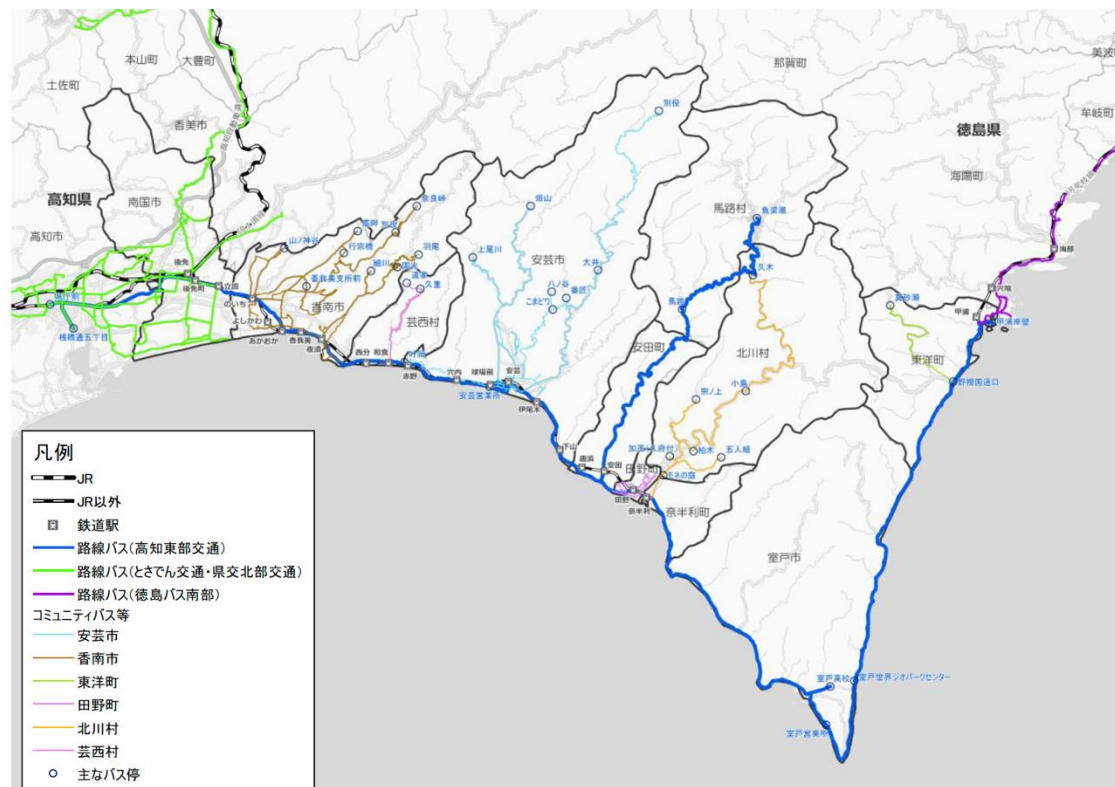
高知県の東部に位置する北川村は、村域のほぼ中央部を南下する奈半利川を挟んだ、東西最大幅は17km、南北最大幅は約23kmにわたる、面積196.73km²を占める地域である。同地域の奈半利川北端は、魚梁瀬ダム堰堤より約1km上流、同南端は河口より約4km上流地点にある。

(2) 気候

北川村は、年間を通じ温暖多雨で、平均気温16.3℃、降雨量3,000～4,000mmと農産物の生産に適した気候である。また、8月から9月下旬にかけて台風が通過することもあり、1月上旬から2月下旬にかけては、たまに降雪を見ることがあるが、積雪はほとんどない。

(3) 交通

北川村は、東部広域地域に位置しており、幹線的な公共交通機関として、第3セクターの土佐くろしお鉄道が運行する南国市と奈半利町を結ぶ鉄道（土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線）や、鉄道に平行・接続する形で運行されている高知東部交通の幹線バス（3路線）が北川村方面に続いている。また、支線的な公共交通・移動手段としては、奈半利町からコミュニティバスが北川村方面に運行されている。



出典：高知県東部広域地域公共交通網形成計画より

(4) 産業・文化

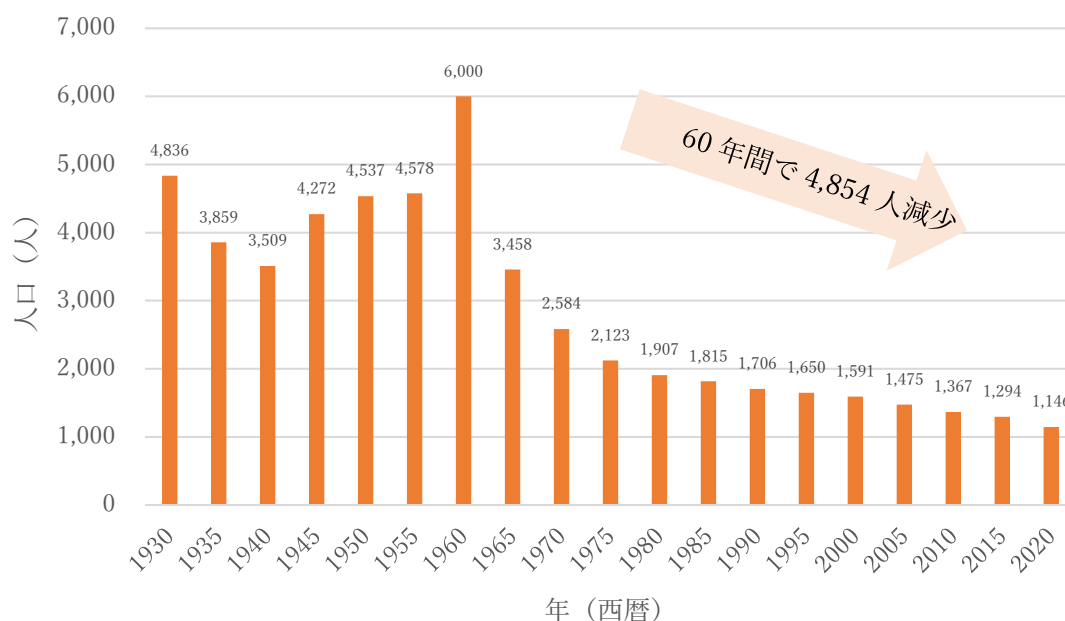
県のシェアの1/4を占める柚子を始め、多彩な作物の栽培が行われている。村の総面積の約95%を占める森林は、木材生産や村土の保全など大切な役割を果たしている。また、北川村は幕末の志士である中岡慎太郎の生誕地であり、中岡慎太郎の偉業を伝える中岡慎太郎館が生誕の地である柏木地区にある。さらに、印象派の巨匠であるフランスの画家・クロード・モネの「睡蓮」をモチーフにしたモネの庭「マルモッタン」は、世界で唯一「モネ」を冠する施設として認められている。

(5) 防災

小中学校及び保育所等が避難所に指定されており、体育館には非常食等の物資が備蓄されている。台風や大雨時には村民会館が避難所として利用されることがほとんどである。小学校グラウンドは臨時のヘリポートに指定されており、緊急時には負傷者や災害救援物資などの緊急輸送を行う。中学校グラウンドについては一部土砂災害警戒区域にかかっている。なお、本村全域で南海トラフ地震時の津波浸水被害は想定されていない。

(6) 人口

本村の人口は、奈半利川電源開発事業の最盛期であった昭和35（1960）年に6,000人にまで増え一時電発景気に沸いたが、その後ダムの完成、国有林事業の統廃合等による人口移動に加え、地場産業の衰退、高度経済成長期における大都市圏への大幅な人口流出や出生数の減少などの影響により減少傾向にあり、2020年には1/4以下の1,146人にまで激減している。



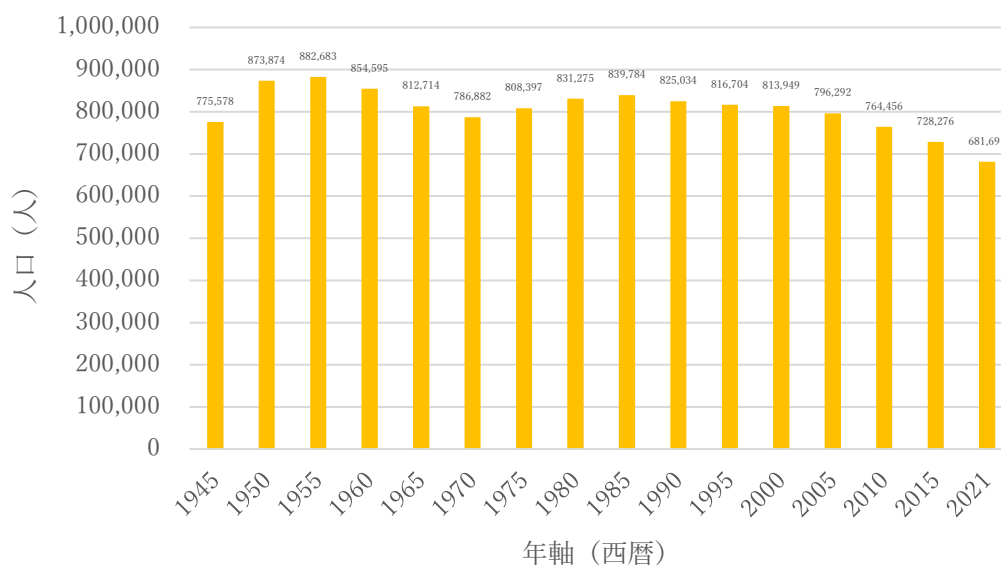
出典）総務省「国勢調査」より

また、北川村まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度版）の将来人口の推計によると、人口減少がさらに進行し、令和12（2030）年に954人と推計され、一層の人口減少が進むと予測されている。



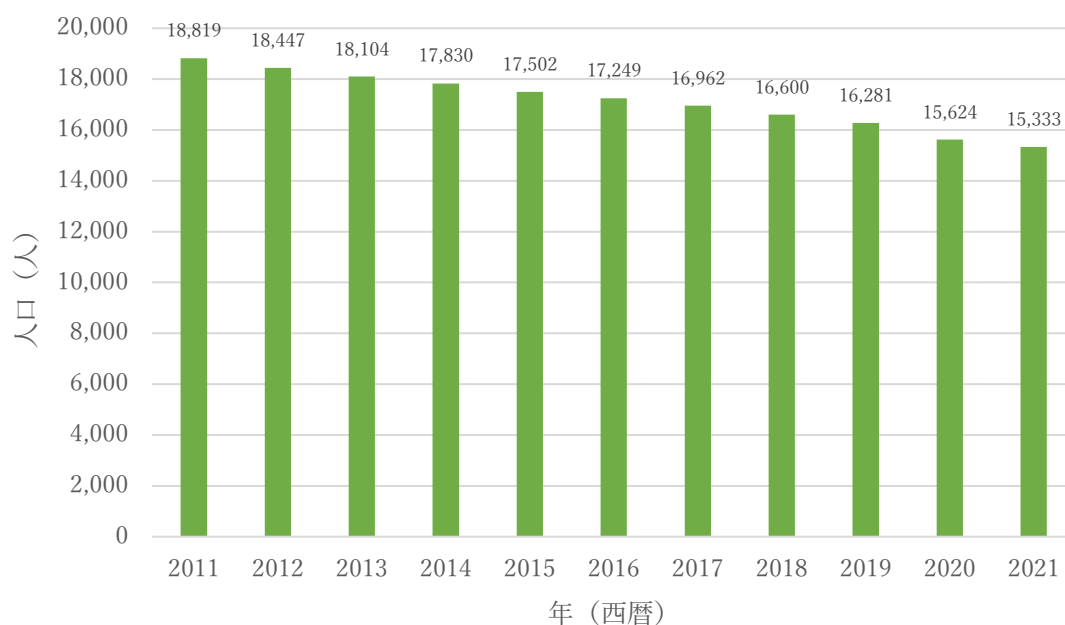
出典）北川村まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度）より

また、広域での人口動態を確認すると、高知県については、1945年以降は70万人以上をキープしつつ、80万人を超える時期も長く続いてきたが、最近は減少傾向にあり、2021年11月時点においては、70万人を割り込んでいる。



出典) 令和2年度高知県統計書より

北川村が含まれる安芸郡に関する人口動態については、2011年以降減少傾向にあり、平均して毎年400人程度の人口減少が続いている。



出典) 高知県_市町村別推計人口<長期時系列データ>より

全体的には、人口減少は北川村だけの固有の現象ではなく、高知県全体もしくは安芸郡における全体の傾向であることがうかがえる。

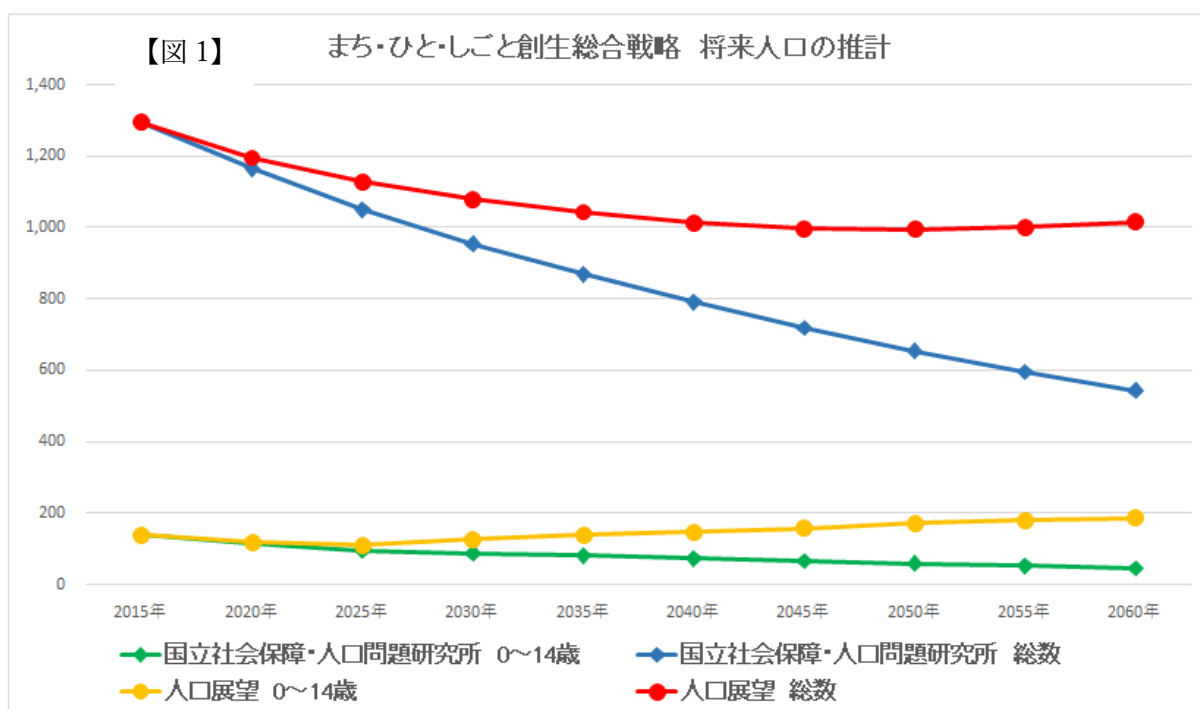
2. 北川村の教育の概要

(1) 将来人口の推計（図1）と保育所・小中学校の在籍人数（図2）

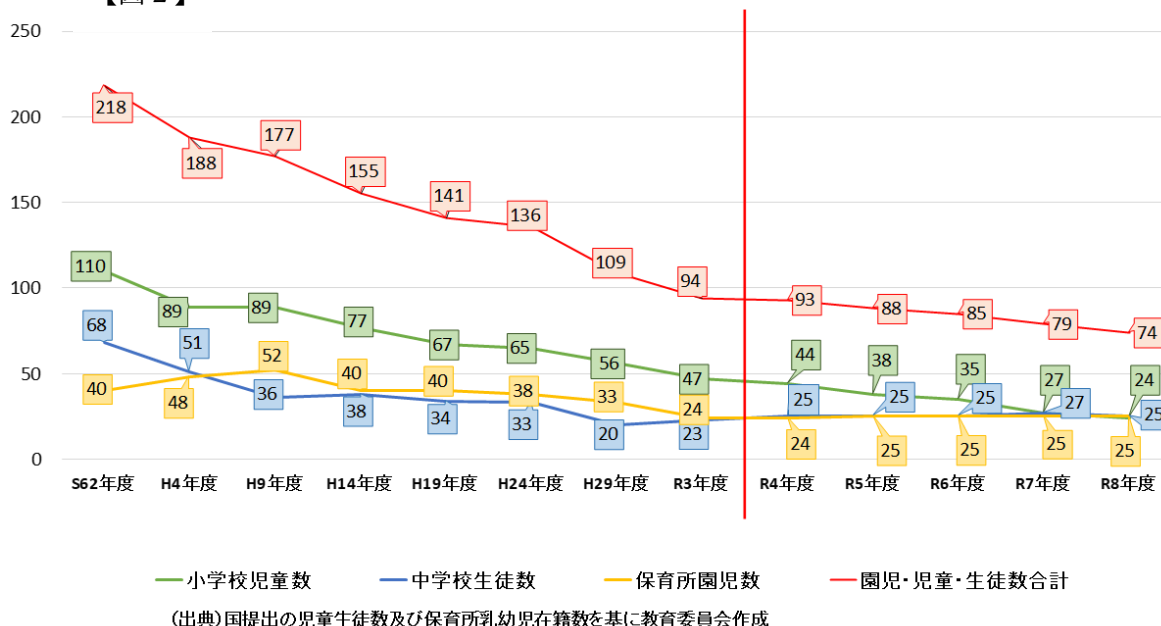
本村の人口減少に比例して、0才から14才までの人口も減少傾向にある。特に平成以降、小中学校の児童生徒数推移を見ると約半減になっており、また、令和3年度の保育所在籍園児が23名（各年齢別で見ると約4名）となっていることから、今後は0～14才以下の人口のさらなる減少が避けられない。

このまま何も対策を講じなければ、約10年後には小学校は全ての学級が完全複式に、中学校は一部複式となる可能性が高く、子ども同士切磋琢磨できる環境が失われていくことが想定される。また、完全複式等になると、教員定数が減少し、教育環境の充実が図りにくくなる他、人口減少は、村の存続や学校の存続にも大きく関わってくる。

今後は子どもたちが村に帰ってきたい、また、他地域から北川村へ移住し暮らしたいと思えるように、将来を見据えた魅力かつ特色ある子育て・教育環境を構築し、村のその他の施策とともに効果的に対策を講じ、人口千人の村づくりを進めていく。



【図2】



(2) 北川村の教育目標と目指す子ども像

「ふるさとへの愛着と誇りを持ち、学ぶ意欲にあふれ、未来を切り拓く社会性豊かな子ども」

○北川村に誇りと愛着を持ち、地域に貢献しようとする子

○確かな学力を身につけ、身についた学力を社会に出て活かせる子

○自分の考えや思いを相手に伝えることができる子

○自分のことも他人のことも大切にできる子

○きまりを守り、自分のことは自分でできる子

子どもたちの村への愛着は高く真面目に努力する姿が見られるが、精神的な弱さや積極性に欠けるなどの課題も見受けられる。今後は15歳の春までに身に付けさせたい子ども像をさらに深掘りし、より具体的な身に付けさせたい子ども像を掲げていく。

(3) 特徴的な取り組み

1. 保小中一体化

「15年間の一貫した教育で誰一人取り残されず学ぶことができる魅力的な環境を創る」ために、小1プロブレムや中1ギャップなどの段差を抑え、中学校卒業までに身に付けさせたい子ども像の具現化を図る教育活動を保小中一体となって展開している。

また、学校施設が建築から60年を迎えようとしている現在、グローバル化やIT化、外国語活動の教科化、地域内外に開かれた探究的な学びの必要性など、子どもたちの学びの有り様が大きく変化していることから、学校施設の地域開放も想定した施設整備のあり方を検討すべく、令和3年度「北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会」を設置し、保小中一体的な施設や子育て環境等のあり方について検討してきたところである。

2. 地域学（北川学）

北川学は、村に愛着を持たせ地域に貢献できる人材を育成するとともに、子どもたちの探究的な学びの姿を育む観点から、令和元年度から県及び国の指定事業を受け、継続して研究を行っている。

地域資源を題材として、地域住民の協力を得ながら、小中9年間を見通した系統的かつ探究的な学習を展開している。子どもたちが調べた地域の魅力を発信したり、地域の課題解決に向けて子どもたち自身が解決策を考え、取り組んでいく活動は、ここ数年村内外からも高い評価を受けており、子どもたちや教職員のモチベーションを高める大きな要因となっている。

- ・平成30年度高知県学校新聞づくりコンクール高知県教育長賞
- ・令和元年度高知県学校新聞づくりコンクール高知新聞社長賞
- ・令和2年度高知県学校新聞づくりコンクール銀賞
- ・令和2年度四国コンテンツ映像フェスタ小・中学生部門最優秀賞
- ・令和3年度総務省地域発デジタルコンテンツ総務大臣奨励賞
- ・令和3年度第24回坂本教育長賞優秀校

3. 企業と連携した特色ある教育活動

近年、本村では学校と企業が連携を図り、北川村ならではの特色ある教育活動を展開している。（以下、取り組みの概要）

- ・外国語：オンライン英会話のサービスを展開している企業と連携を図り、保育所と小学校では講師と各学年の園児・児童による一斉授業型、中学校においては講師と生徒のマンツーマンによる個別型をそれぞれ実施している。
- ・ゆず学習：村産のゆずを原料としてヘアオイルなどを製造・販売している化粧品会社の協力を得て、出前授業や子どもたちとのゆず収穫体験を実施。令和3年度は、中学2年生による「ゆず石けんプロジェクト」に賛同いただき、生徒と共同しながら商品開発を実施している。
- ・食育活動：賞味期限間近の商品を販売することで社会貢献活動を展開している企業と村が協定を結び、子どもたちの食育活動に協力いただいている。企業の代表者によるリモート講座の他、これまで取引・流通があまりなされていない種なしゆずの収穫体験を子どもたちとともに実施したりするなど、もったいないを価値に変換する活動を展開している。
- ・公営塾：教育や観光など地方創生に取り組む地方の市町村に人的支援等を行っている企業の協力をいただき、令和3年度7月より中学校の公営塾を開始。現在、専門の指導者による学習塾を無償で展開しており、単なる学力の向上のみならず学習意欲や探究心の向上を目指した塾運営を行っている。

4. コミュニティ・スクール（CS）

令和2年度より保護者や住民の意見を学校等の運営に生かす仕組みである「北川村保小中学校運営協議会」を設立し、保育所及び小中学校の運営方針や取り組み内容、支援していただきたいことなどについて話し合う会議を定期的に行っている他、地域住民が教育活動にボランティアとして参画する仕組みである「地域学校協働本部」の組織化を図り、コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校づくりを進めている。現在、学校ボランティア登録者数は令和3年12月現在で約80名となっており、北川学への支援や絵本の読み聞かせ、愛校・愛園作業などにご協力いただいている。

（4）これから目指す教育のあり方

1. 保幼小中一体的な教育の確立（15年一貫学園構想）

現在村内に1つずつしかない保育所と小中学校の組織の一体化に向け、将来的に保育所機能と幼稚園機能を併せ有した認定こども園と義務教育学校の制度を活用しながら、15年一貫教育により、北川村で子育てをしたい、子どもたち自身が北川村で育って良かったと思えるような魅力的かつ特色ある子育て・教育環境を構築する。

2. 魅力的かつ特色ある教育活動の創造

地域学としての北川学をさらに進化させ、村への愛着と貢献心を育むことはもとより、社会を生き抜くために必要な知恵、思考判断力、新たな環境にも耐え抜いて克服できる力を中学校卒業時に全員の子どもが身に付けるような教育活動を創造する。

- ・ゆずに関わる学習を通して、各教科と関連を図り、企業と連携しながらITの活用やマーケティング、商品開発・加工、デザイン、接遇マナーなどを一体的に学ぶ学習活動（しごと・農業・キャリア教育・STEAM教育）

- ・グローバル社会を生き抜くために、就学前から中学校まで系統的に外国語を学ぶ学習活動（外国語教育）

- ・IT化が加速する中、タイピングやプレゼン資料作成、動画編集、SNS等を活用した情報発信、プログラミング教育などを系統的に習得する学習活動（IT・プログラミング教育）

また、子どもたちに一人一台のパソコン環境が整備され、小学校低学年からパソコンを活用した学習が展開されつつある中、タイピングに必要なローマ字の学習を低学年から習得させるなど、学習指導要領に基づかない教育課程の編成を見据え、カリキュラムマネジメント研究を展開していく。

3. 地域と共にある学校づくりのさらなる推進

コミュニティ・スクールとして、地域と共にある学校づくりをさらに推進し、今後は保育所保護者会と小中学校PTAの一体的な組織体制を構築し、15年一貫教育を支える。

北川村文教施設・子育て教育環境等整備事業

基本計画検討にあたって

- 先人が守り抜いてきた北川村を未来を担う子どもたちに残していくためには、産業の構築とともに、北川村で子育てしたいと思えるような子育て教育環境を構築し、人口千人を維持することが必要。（総合戦略）
- グローバル化やIT化等、変化の激しい社会で子どもたちがたくましく生き抜いていくためには、これまでの教育とは発想を転換し、多様性を育み、自主的・主体的に探究的な学びを展開するための環境が必要。
- 学校施設が建築から60年を迎えようとしている中、長寿命化計画では、今後40年間の維持管理、更新、改築等を合わせた試算を行うと、長寿命化改修を行った場合の試算より改築し維持管理を行っていく方が、コストを抑えられる試算が示されている。また、村内の主要避難所にもなっている学校は、地震で倒壊しないだけでなく、建物として子どもたちの学びにつながる機能や住民の安全を確保する機能を発揮することが重要。
- 子どもの数が減少している中、村で今を生きる子どもたちが多様な環境の中で自主性・主体性を発揮するためには、地域住民や村外の方が子ども達と積極的に関わる機会や空間を設けることが大切。
- 以上のような観点を踏まえ、本村在住の子どもたちにも恩恵をもたらせ、子育て世代を呼び込むことのできるような、北川村ならではの魅力的な環境をハード・ソフトの両面で整備する必要。
- 一方で、村の厳しい財政事情について心配する声も多く、上述の喫緊に検討することの必要性を丁寧に説明するとともに、PPP/PFIなど様々な手段を用いて村の財政負担を極力減らすための方策を検討することも必要。
- 本基本計画は、これらの観点を踏まえ、北川村だからこそできる15年を見通した子育て教育内容や環境整備について協議するとともに、財政事情に柔軟に対応できるよう、子育て教育環境整備の案を複数提示し、本村における文教施設・子育て環境等の整備に資する検討を実施した。

北川村文教施設・子育て教育環境等整備事業

基本計画報告書 骨子（案）

第 1 章 計画の背景

1. 北川村の概要

- 学校は避難所や物資輸送のヘリポートに指定されており、重要な防災拠点。（第 5 回検討委員会）
- 本村の将来人口推計によると、2030 年に 954 人と推計され、千人を割り一層の人口減少が進むと予測。（総合戦略）

2. 北川村の教育の概要

- 15 歳以下の人口動態をみると、この先 10 年で子どもの数はさらに減り、今の状態での学校の維持が困難になる恐れ。（第 1 回検討委員会）
- 企業との連携や保護者・地域住民の理解と協力により、北川学をはじめとする教育の取組が村内外で評価されている。（第 3 回検討委員会）
- 子どもたちの村への愛着は高く真面目に努力する姿が見られるが、精神的な弱さや積極性に欠けるなどの課題もあるところ。（第 3 回検討委員会）
- これら子どもたちの課題解決だけでなく、移住促進にもつながるような、校種を超えて教職員が日常的に交流できる 15 年を見通した保小中一体的な組織体制や施設整備など、魅力的かつ特色ある子育て教育環境を構築する必要。整備に当たっては、保育所機能と幼稚園機能を併せ有した認定こども園や義務教育学校の制度導入を前向きに検討。（第 4 回検討委員会）
- また、北川村で子育てしたいと思える教育環境の構築のためには、村の地域資源であるゆずを題材として、各教科と関連を図り、企業と連携しながら 1 次産業から 6 次産業までの仕事の有り様を学習するなど、本村ならではの特色ある取組を構築していくことも必要。（第 3 回検討委員会）

3. 教育施設の概要

- 小学校校舎、中学校校舎ともに間もなく 60 年を迎える施設があり、老朽化も進んでいるため、村が策定した長寿命化

計画では今後40年間の維持管理・更新・改築等を合わせた試算を行うと、長寿命化改修を行った場合より、改築し維持管理を行っていく方が、コストを抑えられるとの試算がでている。(第1回検討委員会)

- 現在、北川村の教育として、保小中を一貫とした教育を目指しているものの、保育所は別の敷地にあり、小学校と中学校は施設が離れており職員室もそれぞれにわかれているため、連携や交流が展開できにくい状況が否めず、なめらかにつながって一体的な学びを展開しやすい教育環境が必要である。(第3回検討委員会)
- 耐震改修、大規模改修を実施しており、大地震が来たとしても倒壊は免れるが、建物としての機能が発揮できない可能性があることから、学校としての機能はもとより、避難所だけではなく、物資拠点など災害対策拠点施設として位置付け検討することも必要。(第5回検討委員会)

第2章 文教施設の計画として

1. 基本理念
2. 基本方針
3. 基本計画

第3章 地域とともにある施設の計画として

1. 複合化内容

- 北川村の子どもたちの特徴をいかし、より一層の力を培っていくための教育環境として、多様な集団により、多様な人との関わりと、多様な環境の中で、豊かな学びや体験ができる環境が必要。(第3回検討委員会)。
- そうした多様で豊かな学びを支えるため、施設を整備するにあたっては、子どもたちの新しい学びに応じたものにすることはもちろんのこと、地域住民も活用できる複合施設とすることが重要。(第3回検討委員会)。
- どのような施設とともに複合化するのかについては、利用者である地域住民の意見を聴くことが重要であり、地域住

民、子どもたち、教職員のワークショップを実施するとともに、住民アンケートを実施し意見を取りまとめ。

その結果、子どもたちを核に地域住民も使える図書館、公園や広場、トレーニングスペースなどが候補としてあがった。これらの機能は、学校において必要な環境であり、村の施設として一層充実させて設置することで、子どもの学び活動も充実されることができると同時に、そこに地域住民の姿や活動がみえることで、子どもにとって豊かな学びに発展させていける機能であり、複合させることが有効。

(アンケート、ワークショップ、第 3・4 回検討委員会)

- また、現在様々な企業と連携した教育活動を進めていることから、これらの企業がチャレンジしている姿を見ることができ施設を身近に置くことも、子どもたちの多様な学びやキャリア教育の観点では重要。(第 3・4 回検討委員会)
- このような複合化施設を設置することで、子どもから高齢者まで、すべての村民が集まり、活動できる「核」となる場所をつくることができ、こうした施設が村の中心にあることで、千人が一体となって、また、村外の関係人口となりうる人たちも巻き込んで、活気ある活動や場所を生み出すことができる。(第 4 回検討委員会)
- さらには、建物が分散されて配置されるよりも、一箇所にまとまることにより、コストを抑えながらも充実した機能を設置することが叶うだけでなく、維持管理・更新等、活用していく上で必要となるコストを抑えることも可能。

(第 2 回検討委員会)

2. PPP/PFI 手法活用の検討

- PPP/PFI について、サウンディングを実施したところ、様々な企業から御提案をいただいております、これらについても子どもたちの教育の更なる発展、文教施設の複合化等による地域住民の利便性の向上、村財政負担の軽減の観点に合致するものは積極的に盛り込んでいく必要 (第 6 回検討委員会)。

3. 基本計画

第 4 章 計画条件

第 5 章 計画の条件

第 6 章 これまでの経緯と今後のスケジュール

資料2-1

■保(幼)・小・中一体化+村民文化施設による文教施設整備に係る面積規模の試算

0. 面積規模算定の前提条件

●前提条件：各学年1学級、1学年10名程度を想定。

*「北川村まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度～令和6年度)」に基づく

1. 義務教育学校

◎小学校・校舎【学級数に応ずる校舎必要面積(N=6)】

6学級～11学級	2,468+236(N-6)	2,468 m ²
加算 特別支援学級	168	168 m ²
加算 多目的教室	A×1.108	2,921 m² a

*学級数に応ずる教室数と総面積(N=6)

特別教室 → 8教室	885	885 m ²
普通教室	N×74	444 m ²

特別教室：理科室・生活教室・音楽教室・図画工作教室・家庭科教室・

外国語教室・視聴覚教室・コンピューター教室・図書室・特別活動室・

教育相談室(準備室面積含む)

◎中学校・校舎【学級数に応ずる校舎必要面積(N=3)】

3学級～5学級	2,150+344(N-3)	2,150 m ²
加算 特別支援学級	168	168 m ²
加算 多目的教室	A×1.085	2,515 m² b

*学級数に応ずる教室数と総面積(N=6)

特別教室 → 10教室	960	960 m ²
普通教室	N×74	222 m ²

特別教室：理科室・音楽教室・美術教室・技術教室・家庭科教室・外国語教室・

視聴覚教室・コンピューター教室・図書室・特別活動室・

教育相談室・進路資料指導室(準備室面積含む)

○小学校・屋内運動場

1学級～9学級	922	922 m ²
---------	-----	--------------------

●中学校・屋内運動場

1学級～17学級	1,138	1,138 m² c
----------	-------	------------------------------

◎義務教育学校 校舎面積(a+b)	*加算なしの場合、4,618m ²	5,436 m²
●義務教育学校 屋内運動場面積(c)		1,138 m²
義務教育学校施設		6,574 m² ①

2. 学校給食施設 (想定：10人×9学年+こども園60人+職員50人=200人として)

200人以下	170	170 m² ②
--------	-----	----------------------------

3. 幼稚園

※保育園の場合は各室面積規定があるが、全体面積の規定はなく、幼稚園で概算。

園舎 1学級～2学級	307+209(N-1)	307 m ²
加算 保育 対象園児20人以下	88	88 m ²
		395 m²

4. 保育園

既存 認可定員 60人

※内訳 (現行維持) 0歳児：6名、1～2歳児：24名、3～5歳児：30名

	(既存)	(定員による基準面積)
ほふく室 (3.3㎡/人×10名想定)	25.02 ㎡	33.00 ㎡
保育室 (1.98㎡/人×60名想定)	219.99 ㎡	118.80 ㎡
遊戯室 (1.98㎡/人×60名想定)	101.75 ㎡	118.80 ㎡
規定諸室部分の床面積小計	346.76 ㎡	270.60 ㎡

(▲ 76.16 ㎡)

廊下・便所等生活関係部分 面積	規定諸室×0.40	108.24 ㎡
管理関係諸室 面積	83.29 ㎡	90.00 ㎡
給食調理関係諸室 面積	57.40 ㎡ → 義務教育学校に併合	

468.84 ㎡

470 ㎡ ③

5. 改築の検討にむけた面積の試算

保(幼)・小・中一体化 教育施設 ①+②+③

7,214 ㎡

【既存】保・小・中一体化 学園施設 面積

5,155 ㎡

【既存】保・小・中一体化 学園施設 + 村民文化施設 面積

6,415 ㎡

目標値

●教育部分 建物工事費概算

【用途別建て替え単価】(「学校施設等長寿命化計画」より)

学校教育施設、子育て支援施設 330,000円/㎡ 2,380,526,940 円
約 23億8000万円

既存と同規模とした場合 330,000円/㎡ 2,116,950,000 円
約 21億1700万円

6. 改築にむけた課題

- 義務教育化に対して、子どもにとって、多様な集団による多様な学習が実現できるよう異学年との交流や、地域の方とのふれあいが可能となる豊かな教育施設を目指す。
→ 1学年当たりの人数も少ないことから、機能を適切に複合化させることで、豊かな教育空間となるよう工夫する。(面積削減も可能となる。)
- 多様性をもった教育環境づくりの一貫として、地域の村民文化施設との複合を実施し、子どもから高齢者までの村民文化教育施設を目指す。このような機能の複合化によって村が保有する公共施設全体を対象とした総合管理計画の視点からも有効となる計画の策定をめざすため、村民や教職員の意見を取り入れ、さらなる複合化検討を行う。また、複合化を含めた最終の面積規模を、上記の目標値とし、検討をすすめる。

■添付資料 文教施設整備に係る面積規模の試算のための、既存建物の状況一覧

1. 検討対象施設面積 一覧表

番号	施設名	用途	延床面積	階数	構造	建築年度	経過年	耐震基準
A	北川小学校	校舎	1,871 m ²	2F	RC,S	1962 年	59 年	旧・新
B	北川小学校	小中調理場	97 m ²	1F	RC	1972 年	49 年	旧耐震
C	北川中学校	校舎	1,569 m ²	2F	RC,S,W	1962 年	59 年	旧・新
D	北川中学校	体育館	1,050 m ²	2F	S	1991 年	30 年	新耐震
E	みどり保育所	園舎	568 m ²	2F	RC	1978 年	43 年	旧耐震
F	村民会館		1,260 m ²	2F	RC	1984 年	37 年	新耐震
義務教育学校施設 小計			4,587 m ²	* A + B + C + D				
保・小・中一体化 教育施設 小計			5,155 m ²	* A + B + C + D + E				
教育施設 + 村民文化施設 合計			6,415 m ²	* A + B + C + D + E + F				

2. 保・小・中 教育施設の詳細

資料：学校施設台帳 より

※構造区分：RC（鉄筋コンクリート造）,S（鉄骨造）,W（木造）

学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	構造	階数	延床面積	建築年度 (西暦)	総合 劣化 評価	耐震 基準
①	1200	北川小学校	教室棟			1285 m ²		92.9	旧・新
		教室棟	1-1	RC	2	994 m ²	1962		旧耐震
		教室棟	1-2	RC	2	273 m ²	1962		旧耐震
		渡り廊下	1-3	S	1	18 m ²	1992		新耐震
	1200	北川小学校	トイレ	2	S	51 m ²	1962	(64.2)	旧耐震
	1200	北川小学校	特別教室棟	4	S	135 m ²	2002	(17.0)	新耐震
	1200	北川小学校	小中共同調理場			97 m ²		(71.6)	旧耐震
		小中共同調理場	1	RC	1	95 m ²	1972		旧耐震
		小中共同調理場	2	RC	1	2 m ²	1972		旧耐震
⑥	6710	みどり保育所	園舎	1	RC	568 m ²	1978	71.9	旧耐震
④	4040	北川中学校	南校舎			923 m ²		86.6	旧・新
		南校舎	1-1	RC	2	600 m ²	1962		旧耐震
		南校舎	1-2	RC	2	215 m ²	1963		旧耐震
		南校舎	1-6	W	1	108 m ²	2007		新耐震
③	4040	北川中学校	北校舎			588 m ²		76.6	旧・新
		北校舎	3-1	RC	2	350 m ²	1964		旧耐震
		北校舎	3-3	RC	2	238 m ²	1991		新耐震
⑤	4040	北川中学校	体育館			1050 m ²		66.0	新耐震
		体育館	7-1	S	2	839 m ²	1991		新耐震
		体育館	7-2	S	2	211 m ²	1991		新耐震
②	1200	北川小学校	特別校舎			458 m ²		7.0	新耐震
	4040	北川中学校							
		(小学校)	特別校舎	5	S	400 m ²	2013		新耐震
		(中学校)	特別校舎	8-1	S	58 m ²	2013		新耐震
	1200	北川小学校	プール	99	RC	367 m ²	1966		－
	4040	北川中学校	プール	99	RC	836 m ²	1992		－
	6710	みどり保育所	プール	99	RC	33 m ²	1992		－
計画対象施設（棟）の合計			17棟	5155 m ²		小学校 1 校、中学校 1 校 保育所 1 園			
計画対象外施設（工作物）の合計			3棟	1236 m ²		プール 3か所			
計画対象外施設（屋外倉庫）の合計			12棟	210 m ²		屋外倉庫、自転車置場他			
総計			20棟	6601 m ²					
* 参考	村民会館	集会施設	1	RC	2	1206 m ²	1984	101.0	新耐震

その他 附属建物

	構造	延床面積	備考
⑩ 北川小・自転車置場・倉庫 1	S	33.00 m ²	*すべて平屋建て
⑪ 北川小・倉庫 2	CB+W	28.00 m ²	
⑫ 小・中学校倉庫	S	26.73 m ²	
⑬ 北川小・倉庫 3	CB+W	16.00 m ²	
⑭ 北川小・倉庫 4	W	15.00 m ²	
⑮ 北川小・倉庫 5	RC+W+S	21.00 m ²	
⑯ 北川小・倉庫 6	S	3.51 m ²	
⑰ 北川小・プール濾過器庫	CB+W	9.20 m ²	
⑱ 北川中・LPG庫	S	1.75 m ²	
⑲ 北川中・自転車置場	W	34.20 m ²	
⑳ 北川中・ポンプ庫	CB+W	7.60 m ²	
㉑ 北川中・倉庫	W	14.40 m ²	
㉒ 北川中・渡り廊下	W	—	
㉓ 北川小・渡り廊下	S	—	
㉔ 北川小中・渡り廊下	S	—	
その他附属建物 小計		210 m ²	

資料2-2 既存施設を元にした、必要諸室と規模の検討

各室面積を、機能諸室ごとに一覧にまとめます。
※1 棟は、校舎配置概要図の棟番号を示す。
※2 コマは、普通教室の面積を1コマとします。

区分	室名	棟	面積	コマ
学習関連	普通教室（小1年）	①	63.00 m ²	1.00
	普通教室（小2年）	①	63.00 m ²	1.00
	普通教室（小3年）	①	63.00 m ²	1.00
	普通教室（小4年）	①	63.00 m ²	1.00
	普通教室（小5年）	①	63.00 m ²	1.00
	普通教室（小6年）	①	63.00 m ²	1.00
	普通教室（中1年）	④	63.00 m ²	1.00
	普通教室（中2年）	④	63.00 m ²	1.00
	普通教室（中3年）	④	63.00 m ²	1.00
	特別支援教室（小1）	①	31.50 m ²	0.50
	特別支援教室（小2）	①	31.50 m ²	0.50
	特別支援教室（中）	③	76.50 m ²	1.21
	理科室	④	63.00 m ²	1.00
	準備室	④	18.90 m ²	0.30
	音楽室（小）	①	82.80 m ²	1.31
	音楽室（中）	③	90.00 m ²	1.43
	調理室	③	59.50 m ²	0.94
	被服室	③	76.50 m ²	1.21
	準備室	③	22.68 m ²	0.36
	美術室	③	59.50 m ²	0.94
	技術室	②	98.75 m ²	1.57
	内部倉庫	②	12.69 m ²	0.20
	外部倉庫	②	36.66 m ²	0.58
	多目的教室	④	63.00 m ²	1.00
	図書室（小1）	①	31.50 m ²	0.50
	図書室（小2）	①	63.00 m ²	1.00
	図書室（中）	④	63.00 m ²	1.00
	パソコン教室（小）	①	49.70 m ²	0.79
	パソコン教室（中）	③	90.00 m ²	1.43
	資料室（小）	①	14.70 m ²	0.23
	資料室（中）	④	18.90 m ²	0.30
講堂	多目的ホール	②	181.25 m ²	2.88
生活・交流	ランチルーム	①	138.92 m ²	2.21
	給食室	①	87.20 m ²	1.38
管理関連	教職員諸室（小）	①	77.70 m ²	1.23
	教職員諸室（中）	④	114.36 m ²	1.82
	校長室	①	20.30 m ²	0.32
	校長室	④	31.50 m ²	0.50
	会議室	①	63.00 m ²	1.00
	保健室（小）	①	31.50 m ²	0.50
	保健室（中）	④	31.50 m ²	0.50
	相談室（小）	①	28.00 m ²	0.44
	相談室（中）	③	22.68 m ²	0.36
	放送室・スタジオ（小）	①	31.50 m ²	0.50
共用空間	放送室	④	18.90 m ²	0.30
	教員昇降口（中）	④	13.17 m ²	0.21
	昇降口（小）	①	34.30 m ²	0.54
	昇降口（中）	④	17.56 m ²	0.28
	玄関ホール	②	15.75 m ²	0.25
	玄関ホール	⑤	24.00 m ²	0.38
	便所（小）	①	56.52 m ²	0.90
	便所（中）	④	28.97 m ²	0.46
	便所（特）	②	37.80 m ²	0.60
	便所（体）	⑤	18.18 m ²	0.29
	更衣室（特）	②	11.70 m ²	0.19
	女子更衣室（中）	④	24.84 m ²	0.39
屋内運動施設	更衣室（体）	⑤	21.07 m ²	0.33
	廊下・階段等		719.16 m ²	15.54%
	アリーナ	⑤	739.32 m ²	-
	ステージ	⑤	52.81 m ²	-
	控室・放送室	⑤	23.62 m ²	-
	器具庫1	⑤	23.62 m ²	-
	器具庫2	⑤	25.00 m ²	-
	指導員室	⑤	13.50 m ²	-
	防災倉庫室	⑤	50.35 m ²	-
	ギャラリー	⑤	76.17 m ²	-
合計			4,627.00 m ²	

* 外部渡り廊下は含まず

【案3】村民会館も含めて一体化させた場合の検討

各室の面積の目安となるコマ数を調整し
小中一貫となった際の面積想定を行います。
※3 コマは、既存63㎡を1コマとします。

室名	コマ	面積
普通教室（小1年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（小2年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（小3年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（小4年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（小5年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（小6年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（中1年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（中2年）	0.70	44.10 m ²
普通教室（中3年）	0.70	44.10 m ²
特別支援教室（小1）	0.50	31.50 m ²
特別支援教室（小2）	0.50	31.50 m ²
特別支援教室（中）	0.70	44.10 m ²
理科室	1.20	75.60 m ²
準備室	0.50	31.50 m ²
音楽室	2.70	170.10 m ²
（2室化できる設え）	↑	
家庭科室（被服）	1.00	63.00 m ²
（調理）	1.50	94.50 m ²
準備室	0.70	44.10 m ²
ものづくりラボ	2.00	126.00 m ²
準備室	0.70	44.10 m ²
多目的教室（和室）	1.50	94.50 m ²
多目的教室（水場+グループ）	1.00	63.00 m ²
多目的教室（活動系）	1.00	63.00 m ²
みんなの図書館	12.00	756.00 m ²
（プレゼンルーム含む）		
（セミナールーム含む）		
パソコン教室		
資料アーカイブ		
ランチルーム	2.50	157.50 m ²
ふれあいリビング	1.00	63.00 m ²
給食室	1.50	94.50 m ²
教職員諸室（幼保小中）	5.00	315.00 m ²
（会議含む）	↑	
校長室（応接含む）	0.80	50.40 m ²
	↑	
保健室	1.00	63.00 m ²
相談室（中）	0.30	
相談室（小）	0.50	31.50 m ²
	→	18.90 m ²
放送室・スタジオ	0.50	31.50 m ²
	↓	
教員昇降口	0.50	31.50 m ²
	↑	
昇降口（地域含む）	1.00	63.00 m ²
	↑	
便所	3.00	189.00 m ²
更衣室	1.00	63.00 m ²
オープンスペース・通路等	20%	660.24 m ²
アリーナ	同規模	1,050.00 m ²
ステージ		
控室・放送室		
器具庫	1.00	63.00 m ²
指導員室		
多目的活動スタジオ	3.00	189.00 m ²
トレーニングルーム		
ギャラリー		
義務教育学校部分 小計		5,263.44 m ²

1,737,000 千円

* 太字室名は、
地域と共用を検討

・普通教室は、
人数規模に合わせ
面積を縮小
・オープンスペース内に
教職員のサテライト
コーナーを設置。

・特別支援教室は
面積をやや縮小する
ものの、部屋割を
可変可能とする。

* 特別教室数は
別紙資料参照

・キッチン含めて
村民と共用できるよう
空間を確保。

・共用部分は、
準備室も充実。

・村民会館の和室を
多目的室として計上。

・村民みな図書館
となるよう、また、
ラーニングコモンズの
ように、多様な学び
に対応できるよう
一層充実できる面積
を確保。

・村民会館研修室を
図書館内に併合。

・図書館や多目的室の
充実により、多目的
ホール兼ランチルーム
として考える。

・村民の居場所として
ふれあいリビングを併設。

・管理関連諸室は、
保(幼)小中一体化により
全員が集まれる空間と
して整備しつつ、

新たな空間も必要に
なることから、
少し余裕をもたせた
計画としている。

・共用空間も同様に
義務教育学校化に
よって、一体的に
整備しつつ、
地域活用に配慮し
少し余裕をもたせた
計画としている。

・オープンスペース
を設けて、諸室を
つなぐことにより
学びに多様性が

生まれることから、
オープンスペース
をもった学校の
廊下面積割合として
20%にて試算

・トレーニングルーム・
スタジオを追加計画。

・器具室も充実。

+ 636.44

※330千円/㎡として

区分	室名	棟	面積	コマ
保育所	乳児室	㊤	54.11 m ²	0.86
	調乳室	㊤	3.78 m ²	0.06
	畳コーナー	㊤	25.03 m ²	0.40
	保育室（年少）	㊤	48.95 m ²	0.78
	保育室（年中）	㊤	60.00 m ²	0.95
	保育室（年長）	㊤	63.75 m ²	1.01
	保育室	㊤	10.31 m ²	0.16
	遊戯室	㊤	97.38 m ²	1.55
	便所A	㊤	17.88 m ²	0.28
	便所C/D	㊤	11.14 m ²	0.18
	便所	㊤	7.46 m ²	0.12
	屋外便所	㊤	3.31 m ²	0.05
	玄関ホール	㊤	19.10 m ²	0.30
	廊下・階段 2	㊤	0.00 m ²	0.00
	廊下・階段1	㊤	0.00 m ²	0.00
	職員室	㊤	22.17 m ²	0.35
	給湯室	㊤	4.59 m ²	0.07
	休憩室	㊤	11.29 m ²	0.18
	シャワー室	㊤	5.40 m ²	0.09
	放送室	㊤	5.49 m ²	0.09
	職員玄関	㊤	7.03 m ²	0.11
	便所E	㊤	4.86 m ²	0.08
	倉庫	㊤	7.56 m ²	0.12
	倉庫	㊤	14.90 m ²	0.24
	配膳室	㊤	5.04 m ²	0.08
	調理室	㊤	44.28 m ²	0.70
	食品庫	㊤	5.99 m ²	0.10
	便所B	㊤	2.09 m ²	0.03
	合計		562.89 m ²	

村民会館	大ホール	㊤	432.00 m ²	6.86
	会議室	㊤	59.40 m ²	0.94
	研修室	㊤	89.10 m ²	1.41
	和室 1	㊤	40.50 m ²	0.64
	和室 2	㊤	44.82 m ²	0.71
	生活改善室	㊤	37.40 m ²	0.59
	健康相談室	㊤	22.00 m ²	0.35
	図書室	㊤	31.08 m ²	0.49
	資料室	㊤	9.90 m ²	0.16
	玄関・展示ホール	㊤	59.40 m ²	0.94
	相談コーナー（ホール）	㊤	48.60 m ²	0.77
	教育委員会事務局	㊤	69.93 m ²	1.11
	湯沸かし	㊤	4.20 m ²	0.07
	玄関	㊤	14.85 m ²	0.24
	廊下 1	㊤	63.00 m ²	1.00
	廊下 2	㊤	63.15 m ²	1.00
	便所 1	㊤	29.70 m ²	0.47
	便所 2	㊤	18.15 m ²	0.29
	倉庫	㊤	29.70 m ²	0.47
	物置	㊤	9.90 m ²	0.16
	物入れ	㊤	7.00 m ²	0.11
	防災倉庫	㊤	9.72 m ²	0.15
	空調機械室	㊤	12.50 m ²	0.20
	合計		1,206.00 m ²	

室名	コマ	面積
保育室（1）	0.50	31.50 m ²
保育室（2）	0.50	31.50 m ²
保育室（3）	0.50	31.50 m ²
保育室（4）	0.50	31.50 m ²
保育室（5）	0.50	31.50 m ²
乳児室	0.50	31.50 m ²
ほふく室	0.50	31.50 m ²
調乳室・沐浴	0.10	6.30 m ²
遊戯室	2.00	126.00 m ²
配膳室	0.20	12.60 m ²
幼児用便所	0.50	31.50 m ²
シャワー室	0.10	6.30 m ²
幼保職員サテライト	1.00	63.00 m ²
他管理・保健諸室		
廊下等	10%	46.62 m ²
こども園部分	小計	512.82 m ²

＊全体に対して

倉庫	5%	288.81 m ²
機械室	5%	288.81 m ²
防災倉庫		100.00 m ²
教育施設＋村民文化施設 合計		6,453.89 m ²
2,130,000 千円		

【注意事項】
 今回の試算は、建物に限っており
 プール、外部倉庫、および、グラウンドや公園等の
 試算は含んでおりません。

- 体育館が複合的に活用できるよう、活用を検討（アリーナ、舞台、収納、ダンス等可能なトレーニングルームに）
- 図書館に隣接する研修室として整備
- 多目的室として整備

- 家庭科室に併合

- 学校図書室と地域図書室を併合して 図書館や地域資料アーカイブとして充実させて整備
- 地域利用可能エリア、図書館等、様々な場所の オープンスペースを活用してエリアを設置
- 庁舎への併合を検討

- 複合化させて空間の中で、適宜確保。

＊村民会館を学校と合わせた複合施設化することによって
 こどもと地域とのつながりがより一層密にできることを
 期待した計画としているため、村民会館の実状に基づいた
 活用を、学校とあわせてどのように活用していくのか、
 村民との関わりを学びにより一層、どういかしていくか等
 今後、使い方や運営のイメージを十分に検討していくとともに
 こうしたことをマネージメントできる人材が必要となる。

＊保育室面積は
 定員基準面積を視野に
 既存より、若干縮小。
 既存 183㎡
 計画 158㎡
 ＊ただし、可動間仕切りで
 開いて連続活用できる
 しつらえがあってもよい。
 ・遊戯室は幼小連携に
 配慮し、少し充実。

＊既存より削減。
 基準面積は満たしている。

目標値 6,415㎡

+ 38.89
 ※単価をあくまで
 330千円/㎡として

前回提示案【案１】特別教室型の検討

各室の面積の目安となるコマ数を調整し 小中一貫となった際の面積想定を行います。 ※3 コマは、既存63㎡を1コマとします。			*太字室名は、 地域と共用を検討																																																																																																																																																																																						
<table><tr><th>室名</th><th>コマ</th><th>面積</th></tr><tr><td>普通教室（小1年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小2年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小3年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小4年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小5年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小6年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（中1年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（中2年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（中3年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>特別支援教室（小1）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>特別支援教室（小2）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>特別支援教室（中）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>理科室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>準備室</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>音楽室</td><td>2.00</td><td>126.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>家庭科室</td><td>2.00</td><td>126.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="3">（調理被服一体）</td></tr><tr><td>準備室</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>美術室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>技術室</td><td>1.50</td><td>94.50 ㎡</td></tr><tr><td>準備室</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>多目的教室（活動系）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>多目的教室（水場+グループ）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>みんなの図書室</td><td>7.00</td><td>441.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="3">（プレゼンルーム含む） （セミナールーム含む）</td></tr><tr><td>パソコン教室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>資料アーカイブ</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>多目的ホール</td><td>2.88</td><td>181.44 ㎡</td></tr><tr><td>ランチルーム</td><td>2.50</td><td>157.50 ㎡</td></tr><tr><td>給食室</td><td>1.50</td><td>94.50 ㎡</td></tr><tr><td>教職員諸室（会議含む）</td><td>4.00</td><td>252.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>校長室（応接含む）</td><td>0.80</td><td>50.40 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>保健室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>相談室（中）</td><td>0.30</td><td></td></tr><tr><td>相談室（小）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">→</td><td>18.90 ㎡</td></tr><tr><td>放送室・スタジオ</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↓</td><td></td></tr><tr><td>教員昇降口</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>昇降口（地域含む）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>便所</td><td>3.00</td><td>189.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td>更衣室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>廊下・階段等 合計</td><td>20%</td><td>3,589.49 ㎡</td></tr><tr><td>アリーナ</td><td>同規模</td><td>1,050.00 ㎡</td></tr><tr><td>ステージ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>控室・放送室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>器具庫1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>器具庫2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>指導員室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ミーティングルーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ギャラリー</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>4,639.49 ㎡</td></tr></table> 1,531,000 千円 ・普通教室は、 人数規模に合わせ 面積を縮小 ・ただし、オープン スペースを見込んだ 試算とするため、 低学年において 総合教室型で対応 することは可能。 ・特別支援教室は 面積をやや縮小する ものの、部屋割を 可変可能とする。 *特別教室数は 別紙資料参照 ・図画工作室、美術室 技術室を一体化した アートラボのような 環境にしても有効。 ・村民みなの図書館 となるよう、また、 ラーニングコモンズの ように、多様な学び に対応できるよう 十分な面積を確保 ・ランチルームは、 給食時以外でも 多様に活用できる 多目的ホール的な 使い方も要検討。 ・管理関連諸室は、 義務教育学校化に よって、一体的に 整備しつつ、 新たな空間も必要に なることから、 少し余裕をもたせた 計画としている。 ・共用空間も同様に 義務教育学校化に よって、一体的に 整備しつつ、 地域活用に配慮し 少し余裕をもたせた 計画としている。 ・オープンスペース を設けて、諸室を つなぐことにより 学びに多様性が 生まれることから、 オープンスペース をもった学校の 廊下面積割合として 20%にて試算 + 12.49 ※330千円/㎡として			室名	コマ	面積	普通教室（小1年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小2年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小3年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小4年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小5年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小6年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（中1年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（中2年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（中3年）	0.70	44.10 ㎡	特別支援教室（小1）	0.50	31.50 ㎡	特別支援教室（小2）	0.50	31.50 ㎡	特別支援教室（中）	0.70	44.10 ㎡	理科室	1.00	63.00 ㎡	準備室	0.50	31.50 ㎡	音楽室	2.00	126.00 ㎡	↑			家庭科室	2.00	126.00 ㎡	（調理被服一体）			準備室	0.50	31.50 ㎡	美術室	1.00	63.00 ㎡	技術室	1.50	94.50 ㎡	準備室	0.50	31.50 ㎡	多目的教室（活動系）	1.00	63.00 ㎡	多目的教室（水場+グループ）	1.00	63.00 ㎡	みんなの図書室	7.00	441.00 ㎡	（プレゼンルーム含む） （セミナールーム含む）			パソコン教室	1.00	63.00 ㎡	資料アーカイブ	1.00	63.00 ㎡	多目的ホール	2.88	181.44 ㎡	ランチルーム	2.50	157.50 ㎡	給食室	1.50	94.50 ㎡	教職員諸室（会議含む）	4.00	252.00 ㎡	↑			校長室（応接含む）	0.80	50.40 ㎡	↑			保健室	1.00	63.00 ㎡	相談室（中）	0.30		相談室（小）	0.50	31.50 ㎡	→		18.90 ㎡	放送室・スタジオ	0.50	31.50 ㎡	↓			教員昇降口	0.50	31.50 ㎡	↑			昇降口（地域含む）	1.00	63.00 ㎡	↑			便所	3.00	189.00 ㎡				更衣室	1.00	63.00 ㎡	廊下・階段等 合計	20%	3,589.49 ㎡	アリーナ	同規模	1,050.00 ㎡	ステージ			控室・放送室			器具庫1			器具庫2			指導員室			ミーティングルーム			ギャラリー			合計		4,639.49 ㎡	各室の面積の目安となるコマ数を調整し 小中一貫となった際の面積想定を行います。 ※3 コマは、既存63㎡を1コマとします。			*太字室名は、 地域と共用を検討		
室名	コマ	面積																																																																																																																																																																																							
普通教室（小1年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小2年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小3年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小4年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小5年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小6年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（中1年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（中2年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（中3年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
特別支援教室（小1）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
特別支援教室（小2）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
特別支援教室（中）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
理科室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
準備室	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
音楽室	2.00	126.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
家庭科室	2.00	126.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
（調理被服一体）																																																																																																																																																																																									
準備室	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
美術室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
技術室	1.50	94.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
準備室	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
多目的教室（活動系）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
多目的教室（水場+グループ）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
みんなの図書室	7.00	441.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
（プレゼンルーム含む） （セミナールーム含む）																																																																																																																																																																																									
パソコン教室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
資料アーカイブ	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
多目的ホール	2.88	181.44 ㎡																																																																																																																																																																																							
ランチルーム	2.50	157.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
給食室	1.50	94.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
教職員諸室（会議含む）	4.00	252.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
校長室（応接含む）	0.80	50.40 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
保健室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
相談室（中）	0.30																																																																																																																																																																																								
相談室（小）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
→		18.90 ㎡																																																																																																																																																																																							
放送室・スタジオ	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
↓																																																																																																																																																																																									
教員昇降口	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
昇降口（地域含む）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
便所	3.00	189.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
更衣室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
廊下・階段等 合計	20%	3,589.49 ㎡																																																																																																																																																																																							
アリーナ	同規模	1,050.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
ステージ																																																																																																																																																																																									
控室・放送室																																																																																																																																																																																									
器具庫1																																																																																																																																																																																									
器具庫2																																																																																																																																																																																									
指導員室																																																																																																																																																																																									
ミーティングルーム																																																																																																																																																																																									
ギャラリー																																																																																																																																																																																									
合計		4,639.49 ㎡																																																																																																																																																																																							
<table><tr><th>室名</th><th>コマ</th><th>面積</th></tr><tr><td>普通教室（小1年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小2年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小3年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小4年）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小5年）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（小6年）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（中1年）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（中2年）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>普通教室（中3年）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>特別支援教室（小1）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>特別支援教室（小2）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>特別支援教室（中）</td><td>0.70</td><td>44.10 ㎡</td></tr><tr><td>理科室</td><td>1.20</td><td>75.60 ㎡</td></tr><tr><td>準備室</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>音楽室</td><td>2.00</td><td>126.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>家庭科室（被服）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>（調理）</td><td>1.50</td><td>94.50 ㎡</td></tr><tr><td>準備室</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>ものづくりラボ</td><td>2.50</td><td>157.50 ㎡</td></tr><tr><td>準備室</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td>多目的教室（活動系）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>多目的教室（水場+グループ）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>みんなの図書館</td><td>10.00</td><td>630.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="3">（プレゼンルーム含む） （セミナールーム含む）</td></tr><tr><td>パソコン教室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>資料アーカイブ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ランチルーム</td><td>2.88</td><td>181.44 ㎡</td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td>給食室</td><td>1.50</td><td>94.50 ㎡</td></tr><tr><td>教職員諸室（会議含む）</td><td>4.00</td><td>252.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>校長室（応接含む）</td><td>0.80</td><td>50.40 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>保健室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>相談室（中）</td><td>0.30</td><td></td></tr><tr><td>相談室（小）</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">→</td><td>18.90 ㎡</td></tr><tr><td>放送室・スタジオ</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↓</td><td></td></tr><tr><td>教員昇降口</td><td>0.50</td><td>31.50 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>昇降口（地域含む）</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="2">↑</td><td></td></tr><tr><td>便所</td><td>3.00</td><td>189.00 ㎡</td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td>更衣室</td><td>1.00</td><td>63.00 ㎡</td></tr><tr><td>廊下・階段等 合計</td><td>20%</td><td>3,453.41 ㎡</td></tr><tr><td>アリーナ</td><td>同規模</td><td>1,200.00 ㎡</td></tr><tr><td>ステージ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>控室・放送室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>器具庫</td><td></td><td></td></tr><tr><td>指導員室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ミーティングルーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td>トレーニングルーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ギャラリー</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>4,653.41 ㎡</td></tr></table> 1,536,000 千円 ・普通教室は、 人数規模に合わせ 面積を縮小 ・特に5年生以降は <u>教科の専門的な</u> <u>環境を充実すべく、</u> <u>教室面積を縮小する</u> <u>こともありうるので</u> <u>はないか？</u> ・特別支援教室は 面積をやや縮小する ものの、部屋割を 可変可能とする。 *特別教室数は 別紙資料参照 ・村民みなの図書館 となるよう、また、 ラーニングコモンズの ように、多様な学び に対応できるよう <u>一層充実できる面積</u> <u>を確保。</u> ・図書館の充実により <u>思い切って、多目的</u> <u>ホール兼ランチルーム</u> <u>として考えてみては</u> <u>どうか？</u> ・管理関連諸室は、 義務教育学校化に よって、一体的に 整備しつつ、 新たな空間も必要に なることから、 少し余裕をもたせた 計画としている。 ・共用空間も同様に 義務教育学校化に よって、一体的に 整備しつつ、 地域活用に配慮し 少し余裕をもたせた 計画としている。 ・オープンスペース を設けて、諸室を つなぐことにより 学びに多様性が 生まれることから、 オープンスペース をもった学校の 廊下面積割合として 20%にて試算 ・トレーニングルーム <u>を追加計画。</u> + 26.41 ※330千円/㎡として			室名	コマ	面積	普通教室（小1年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小2年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小3年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小4年）	0.70	44.10 ㎡	普通教室（小5年）	0.50	31.50 ㎡	普通教室（小6年）	0.50	31.50 ㎡	普通教室（中1年）	0.50	31.50 ㎡	普通教室（中2年）	0.50	31.50 ㎡	普通教室（中3年）	0.50	31.50 ㎡	特別支援教室（小1）	0.50	31.50 ㎡	特別支援教室（小2）	0.50	31.50 ㎡	特別支援教室（中）	0.70	44.10 ㎡	理科室	1.20	75.60 ㎡	準備室	0.50	31.50 ㎡	音楽室	2.00	126.00 ㎡	↑			家庭科室（被服）	1.00	63.00 ㎡	（調理）	1.50	94.50 ㎡	準備室	0.50	31.50 ㎡	ものづくりラボ	2.50	157.50 ㎡	準備室	0.50	31.50 ㎡	多目的教室（活動系）	1.00	63.00 ㎡	多目的教室（水場+グループ）	1.00	63.00 ㎡	みんなの図書館	10.00	630.00 ㎡	（プレゼンルーム含む） （セミナールーム含む）			パソコン教室			資料アーカイブ			ランチルーム	2.88	181.44 ㎡				給食室	1.50	94.50 ㎡	教職員諸室（会議含む）	4.00	252.00 ㎡	↑			校長室（応接含む）	0.80	50.40 ㎡	↑			保健室	1.00	63.00 ㎡	相談室（中）	0.30		相談室（小）	0.50	31.50 ㎡	→		18.90 ㎡	放送室・スタジオ	0.50	31.50 ㎡	↓			教員昇降口	0.50	31.50 ㎡	↑			昇降口（地域含む）	1.00	63.00 ㎡	↑			便所	3.00	189.00 ㎡				更衣室	1.00	63.00 ㎡	廊下・階段等 合計	20%	3,453.41 ㎡	アリーナ	同規模	1,200.00 ㎡	ステージ			控室・放送室			器具庫			指導員室			ミーティングルーム			トレーニングルーム			ギャラリー			合計		4,653.41 ㎡									
室名	コマ	面積																																																																																																																																																																																							
普通教室（小1年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小2年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小3年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小4年）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小5年）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（小6年）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（中1年）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（中2年）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
普通教室（中3年）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
特別支援教室（小1）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
特別支援教室（小2）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
特別支援教室（中）	0.70	44.10 ㎡																																																																																																																																																																																							
理科室	1.20	75.60 ㎡																																																																																																																																																																																							
準備室	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
音楽室	2.00	126.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
家庭科室（被服）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
（調理）	1.50	94.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
準備室	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
ものづくりラボ	2.50	157.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
準備室	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
多目的教室（活動系）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
多目的教室（水場+グループ）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
みんなの図書館	10.00	630.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
（プレゼンルーム含む） （セミナールーム含む）																																																																																																																																																																																									
パソコン教室																																																																																																																																																																																									
資料アーカイブ																																																																																																																																																																																									
ランチルーム	2.88	181.44 ㎡																																																																																																																																																																																							
給食室	1.50	94.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
教職員諸室（会議含む）	4.00	252.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
校長室（応接含む）	0.80	50.40 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
保健室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
相談室（中）	0.30																																																																																																																																																																																								
相談室（小）	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
→		18.90 ㎡																																																																																																																																																																																							
放送室・スタジオ	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
↓																																																																																																																																																																																									
教員昇降口	0.50	31.50 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
昇降口（地域含む）	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
↑																																																																																																																																																																																									
便所	3.00	189.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
更衣室	1.00	63.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
廊下・階段等 合計	20%	3,453.41 ㎡																																																																																																																																																																																							
アリーナ	同規模	1,200.00 ㎡																																																																																																																																																																																							
ステージ																																																																																																																																																																																									
控室・放送室																																																																																																																																																																																									
器具庫																																																																																																																																																																																									
指導員室																																																																																																																																																																																									
ミーティングルーム																																																																																																																																																																																									
トレーニングルーム																																																																																																																																																																																									
ギャラリー																																																																																																																																																																																									
合計		4,653.41 ㎡																																																																																																																																																																																							

資料2-3

■北川村文教施設・子育て教育環境等整備事業 建設に必要な木材量の算定

1. 建設に必要な製材量の推計

【計画建物の想定】

- ・延床面積 約6,500㎡
(目標値) *うち、既存特別校舎は改修利用とすると、
 $6,500 - 450 = 6,050$
約6,000㎡を新築と仮定。
- ・活用部位別係数
構造：木造（＋一部RC造の混構造）、2階建 と仮定。
 - ・構造材 0.2～0.3m³/m²程度
 - ・下地材 0.05m³/m²程度
 - ・仕上材 0.02～0.05m³/m²程度 として推計する。

【活用方法別 新築に必要な製材量の推計】

- ① 構造材＋仕上げ材利用（*木造（＋一部RC造の混構造）、2階建 と仮定）
 $6,000\text{m}^2 \times 0.3\text{m}^3/\text{m}^2 = 1,800\text{m}^3$ 程度必要
- ② 仕上げ材利用（*RC造・内装（床・壁）木質化、2階建 と仮定）
 $6,000\text{m}^2 \times 0.04\text{m}^3/\text{m}^2 = 240\text{m}^3$ 程度必要

2. 北川村における材の搬出の見通しと、製材の利用可能量

●大字和田の村有林

- *資料は立木材積と仮定
- *製材材積＝立木材積×0.4と仮定
(丸太材積＝立木材積×0.8、製材材積＝丸太材積×0.5)

- ・スギ：964.46m³ → 385.78 m³
- ・ヒノキ：844.62m³ → 337.85 m³ 723.63 m³

【製材活用イメージ】

例1：約2,400m²の木造2階建となる量

例2：約2,000m²の木造＋約4,000m²の内装木質化

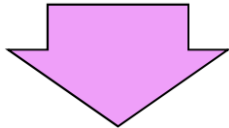
- *別途、民間からも北川村内より、伐採予定の場所がないか等も調査確認し活用できるイメージをひろげていく検討が必要。

PFI事業化プロセス

PFI（Private Finance Initiative）とは？

国土交通省においては、PFI（Private Finance Initiative）を下記のように整理している。

	P F I 方式	従来方式
契約期間	◇長期、複数年に及ぶ	◇基本的に単年度
規定	◇同一の事業者により包括的に性能発注	◇個別業務／工事毎に分離し、仕様発注
リスク分担	◇契約書等に基づき、公共と民間とでリスクを事前に分担	◇公共がリスク負担、又は顕在化した時点で甲乙協議
資金調達	◇民間部門	◇公共部門（一般財源、起債等）

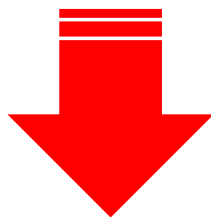


個別でも実施できるが、まとめて実施できるのがPFIの特徴

民間が自由度の高い、事業提案ができるようにする。

仕様発注

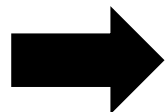
発注者が発注内容や実施方法について
詳細に仕様を決定する方式



仕様書の内容通りの施設が整備され
仕様に沿った公共サービスが提供される
民間の自由度が低く創意工夫が発揮しにくい

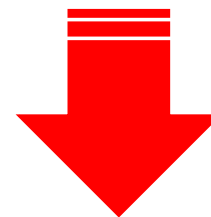
図1) 仕様発注イメージ

- ・シャープペン
- ・色は青
- ・芯は0.7mm
- ・長さ15cm
- ・グリップあり



性能発注

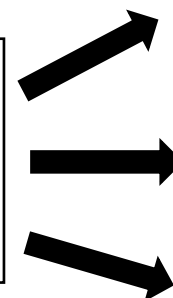
発注者が公共施設やサービスに求める性
能や機能、水準を要求水準にまとめて発注
する



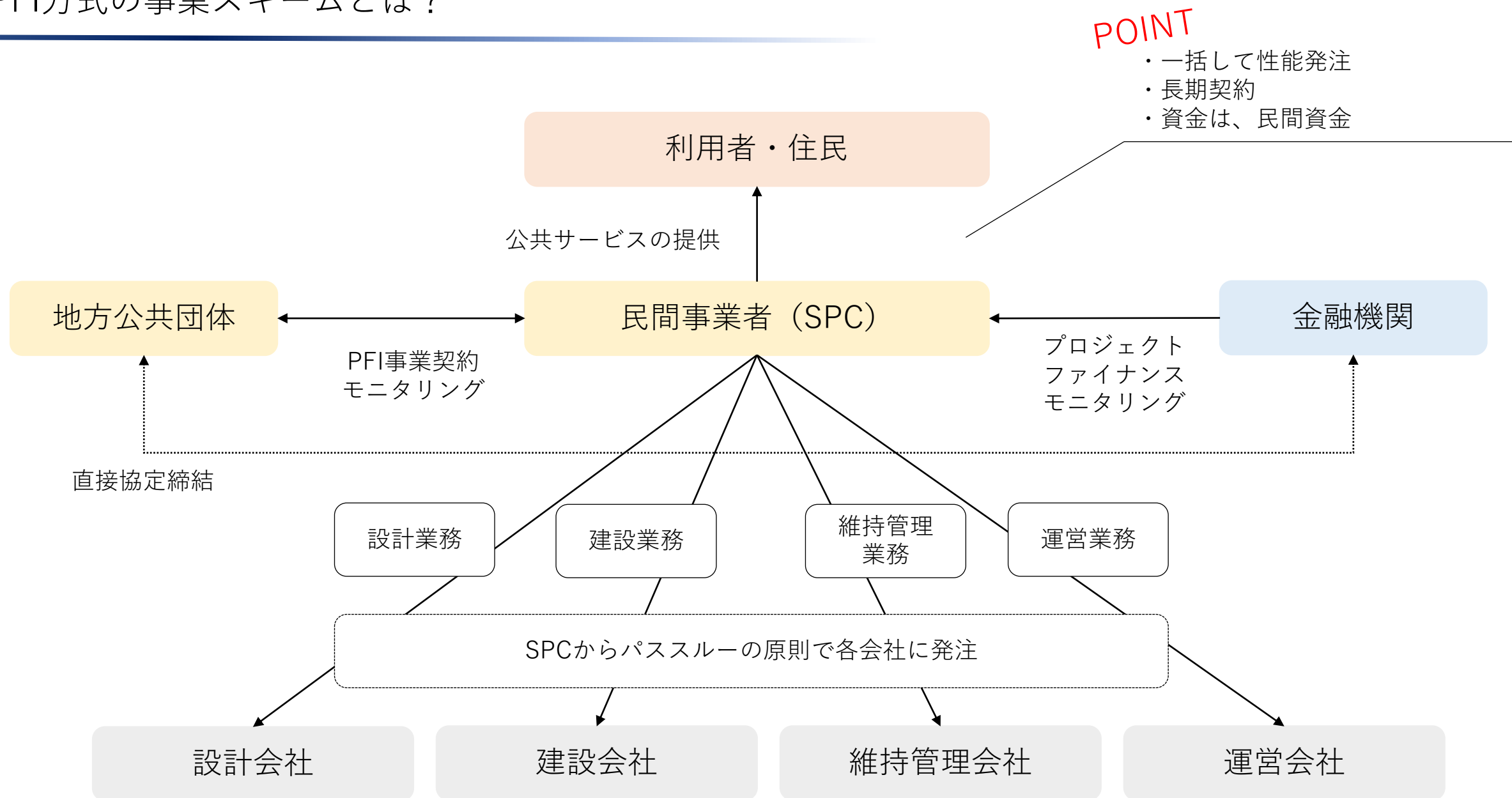
民間の創意工夫を最大に活用でき
従来よりも良質な公共サービスの提供が可能

図2) 性能発注イメージ

- ・文字を描写できる
- ・より早く描写可能
- ・誰でも活用可能



PFI方式の事業スキームとは？



PFI事業化プロセス

